

## 2012わがまち風景賞 特別賞

### 桐生の古民家修復に手腕

芦川 弘志 氏

神奈川県秦野市出身 57歳 桐生市本町一丁目在住。

東京で看板制作、舞台設営、大道具の仕事に携わる。

この時代に培った技術が桐生の古民家修復に役立っている。

桐生の古民家修復は東5丁目の若宮とうふ店が最初（平成7年）、その後、林テル子邸（宮本町）、無鄰館、買場通り長屋（本町1）、林家住宅（東2）、桐生織塾（梅田町）、織物参考館“紫”（東4）など桐生を代表する古民家や工場建築物の修復を手掛けている。

建物の本来の特長を活かし、解体した古材は使えるものはすべて利用する見事なりノベーショ  
ンで、桐生の伝統的建築物を未来に継承する。

手間を惜しまず、知恵をめぐらし工夫を凝らす、どんな小さな仕事にも、この姿勢を貫いてい  
る。

「古民家を解体すると非常に勉強になることが多い。昔の職人の技術は素晴らしい。」

現在は、森秀織物の外壁を修復中、佐野の古民家（農家）のリフォームも依頼されている。東  
2丁目の林家に隣接する新井家の修理をこれから手掛ける予定。

